

ファーマフーズ(2929)

2026年1月26日

執筆担当者：QUICK 企業価値研究所 佐久間聡

○会社概要

「医」と「食」の融合を目指し健康維持と生活の質の向上に役立つ機能性素材を創造

タマゴなどを由来とするバイオテクノロジー研究によって生み出されたPharmaGABA（ファーマギャバ）など独自の機能性素材を他社が製品開発（サプリメント等）に利用できるような原料として卸販売。またECサイト「タマゴ基地」を運営、育毛剤ニューモ等を一般消費者向けに通信販売している。抗体医薬品の開発にも取り組む。

「BtoB事業」は食品・医薬品メーカー、卸売業者（越境EC代理店を含む）等の事業者へ機能性素材、健康食品および医薬品の販売を行っている。「BtoC事業」は健康食品、医薬品、医薬部外品および化粧品について、自社の広告活動を行うことにより、一般消費者に対して直接販売を行っている。「バイオメディカル事業」は同社独自のニワトリ由来抗体作製技術「ALAgene technology」（アラジンテクノロジー）を用いた抗体医薬の研究開発事業などを行っている。

株価・指標

（表示単位未満四捨五入）

株価(26/1/23 終値)	688.0 円
昨年来高値(25/9/10)	1,064.0 円
昨年来安値(25/12/15)	657.0 円
連結 PER(26/7 期会社予想)	20.01 倍
連結 PBR(最新実績)	2.13 倍
基準 BPS	322.54 円
予想配当利回り(26/7 期会社予想)	3.63 %
1株当たり年間予想配当金	25 円
普通株発行済株式数	29,079 千株
普通株時価総額	200 億円

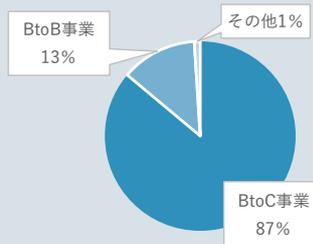
▶売上構成（25/7期連結、外部顧客への売上高）

BtoB 事業 13%、BtoC 事業 87%、バイオメディカル事業 1%、その他 1%未満。

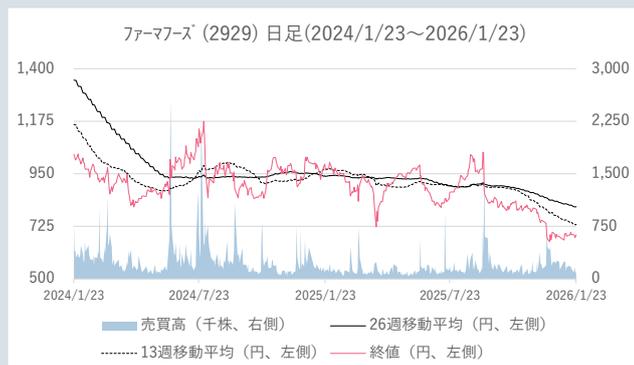
▶ビジネスモデル、事業戦略等

2021年に策定・発表した26/7期を最終年度とする5カ年の「中期経営計画2026」では、既存事業（BtoB事業、BtoC事業）の成長に加え、新たな価値（新規事業）を創造していく方針を示した。26/7期に売上高1000億円を目指しておりM&Aを検討している（25/7期実績はほぼ既存事業により653億円）。既存事業では、ファーマギャバの米国でのGRAS認証取得を最優先事項としている。FDAとの交渉を継続しており、GRAS認証取得後には食品添加物として大手飲料メーカー、菓子メーカー、食品メーカーなどへ販路を広げる方針。新規事業では、自社ブランド製品（衣料向け繊維ビジネスほか）、アグリ（農業ビジネス）などに取り組む。アグリ事業では、GABA副産物から新しい農業資材バイオスティミュラントを開発。繊維事業では、サーキュラーエコノミーに適した天然繊維の新素材「ovoveil（オボヴェール）」を開発し、衣類・日用品の自社ブランド「ovonir（オヴォニール）」を立ち上げた。

売上構成



株価チャート



◇本資料は会社側の資料・見解および事実報道等を要約したものであり、執筆担当者自身の分析・評価および特定の見解を表明したものではありません。
◇本ページの図表の個別注記以外の説明および出所は、後掲の<データの説明>にまとめて記載しております。

※本資料のご利用に際して重要な事項を最終ページに記載しておりますので、必ずご確認下さい。

○業績動向

26/7期は増収減益計画。積極広告とM&Aで売り上げの拡大を図る

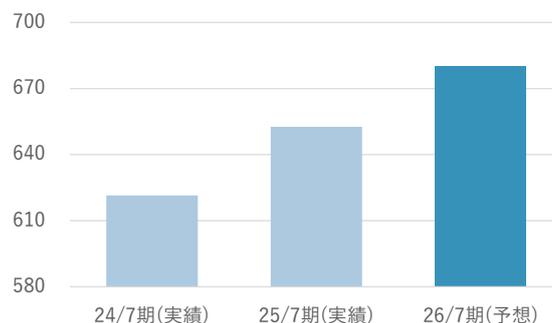
▶実績：25/7期は5%増収、営業利益54%減益

25/7期は連結売上高が前期比5%増の653億円、営業利益が同54%減の24億円。「ニューモ」シリーズが売り上げをけん引しGABAの需要も拡大したが、BtoC事業で広告宣伝費が増加、BtoB事業での医薬品製造受託事業の悪化も重石に。BtoB事業は前期比10%減収の82億円、営業利益（全社費用控除前）が同21%減の12億円。自社ブランド製品「睡眠ラボ」などが会員制大型店舗等で採用。機能性素材（GABAやカテキン）が配合されたおにぎりが大手コンビニチェーンで販売された。北米ではサプリメント向けGABAが好調。BtoC事業は同8%増収の567億円、営業利益が同30%減の37億円。「ニューモV」を新発売し、「ラクトロン錠」等も好調。

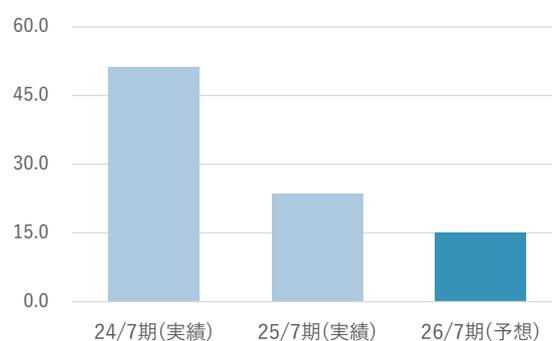
▶業績見通し：26/7期は4%増収、営業利益37%減益を計画

26/7期は連結売上高が前期比4%増の680億円、営業利益が同37%減の15億円を計画。BtoC事業が伸長も繊維事業、アグリ事業などへの投資により減益を見込む。中計目標である売上高1000億円の達成に向けてM&Aを検討。BtoB事業は前期比2%減収の80億円、営業利益が同20%減の10億円へ。飲料製品「ニューモD」を新発売し全国展開を図る。また、機能性素材をパンや総菜にも拡げる方針。米国でGABAに係るGRAS認証の取得を急ぐ。BtoC事業は同5%増収の595億円、営業利益が同11%減の33億円へ。「ニューモV」を中心に売り上げ成長を維持。通信販売と店舗販売を活用したオムニチャンネルで顧客接点を広げる。

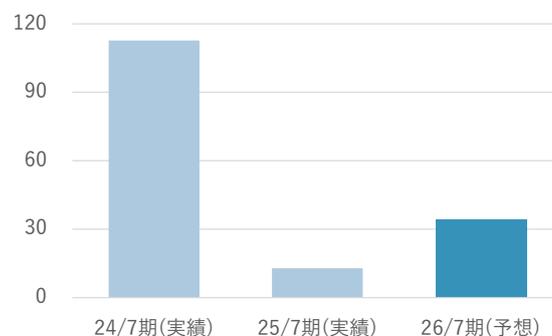
売上高(億円)



営業利益(億円)



EPS(円)



(出所) 会社資料、QUICK Workstation で当研究所作成

業績データ 会計基準：日本基準

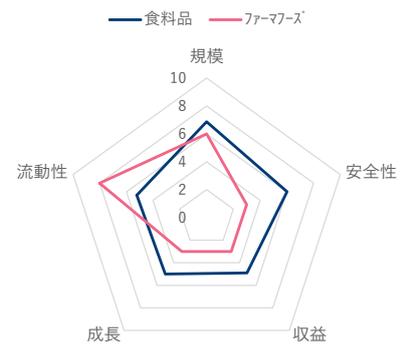
(%は前期比増減率)

決算期	売上高(百万円)		営業利益(百万円)		経常利益(百万円)		純利益(百万円)		EPS(円)
連 24/7 期(実績)	62,147	-9.4%	5,113	41.6%	5,249	48.2%	3,205	4.0%	112.71
連 25/7 期(実績)	65,260	5.0%	2,367	-53.7%	2,553	-51.3%	368	-88.5%	12.83
連 26/7 期(予想)	68,000	4.2%	1,500	-36.6%	1,500	-41.2%	1,000	171.7%	34.39

注：予想は会社予想。ただし、予想EPSは会社予想純利益をベースに当研究所で算出している

○沿革、企業分析レーダーチャート

1997年、機能性食品素材の開発・販売等を目的として京都府に設立。2001年、GABA含有素材「ファーマギャバ」を発売。06年、バイオメディカル事業を開始。12年、通信販売事業を開始。18年、医薬部外品「ニューモ育毛剤」を発売し、売上高が急成長。



(出所) QUICK スコア

<データの説明>

- ・株価高安値：表示期間中の株式分割等の影響は調整済み。市場変更があった場合には市場変更後の高安値を表示
 - ・PER (予想)・PBR (実績)：PERは株価収益率、PBRは株価純資産倍率の略。PER (予想) = 株価 ÷ EPS (予想)。PBR (実績) = 株価 ÷ BPS (実績)。“-” (ハイフン) の表示はEPS・BPSがゼロもしくはマイナスの場合、EPS・BPSが非常に少額でPER200倍・PBR20倍を上回る場合、EPSの予想値がない場合、変則決算のためPER (予想)の算出が不適当な場合など
 - ・EPS (予想)・BPS (実績)：EPSは予想1株当たり利益の略で、普通株主に帰属しない配当を控除した予想純利益を用いて算出。“-” (ハイフン) は利益予想がない場合。この算出に用いる株式数はQUICKが日々算出する直近の普通株発行済株式数 (自己株式除く) を使用。BPSは直近実績の1株当たり純資産の略で、QUICKが日々算出する1株当たり純資産を使用。株式分割等の影響は遡及修正している
 - ・配当利回り：1株当たり年間予想配当金 ÷ 株価。“-” (ハイフン) は配当金予想がない場合、変則決算の場合
 - ・年間予想配当金：株式分割等の権利落ちがあった場合には遡及修正した1株当たり配当金を表示。“-” (ハイフン) は会社予想がない場合、変則決算のため年間配当金としての表示が不適当な場合
 - ・普通株発行済株式数：QUICKが日々算出する直近の普通株発行済株式数 (自己株式含む) を表示
 - ・普通株時価総額：株価 × 上記の普通株発行済株式数
 - ・株価チャート：表示期間中の株式分割等の影響は遡及修正済み。また、市場変更があった場合は新旧両市場の株価を連続的に描画している
 - ・業績データ：会計基準の変更などに伴う過年度決算数値の遡及修正は会社が開示している範囲内で反映している。純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。米国会計基準、国際会計基準において非継続事業が発生した場合は、原則として純利益を除き継続事業ベースの数値を表示
 - ・企業分析レーダーチャートは、QUICKスコア(※)より以下の5項目を抽出。規模 (企業規模の大小を表し、スコア値が高い銘柄ほど企業規模が大きい。構成要素：時価総額、売上高、総資産)、流動性 (流動性すなわち売買のしやすさを表し、スコア値が高いほど流動性が高い。同：平均売買代金[25日]、売買回転率)、成長 (企業の過去および将来における売上や利益、資産の成長性を表し、スコア値が高いほど成長性が高い。同：売上高成長率[3期平均]、経常利益成長率[3期平均]、総資産成長率[3期平均]、予想売上高伸び率[今期・日経予想]、予想経常利益伸び率[今期・日経予想])、収益性 (企業の収益性や利益率を表し、スコア値が高いほど収益性が高い。同：ROE[自己資本利益率]、ROA[総資産利益率]、売上高経常利益率)、安全性 (企業の財務的な安定性を表し、スコア値が高いほど安全性が高い。なお、銀行など金融事業を営む企業は、事業の特性上、自己資本比率が小さく、安全性スコアも低くなる傾向にある。同：自己資本比率) を表示。
- (※) QUICKスコア：国内上場全銘柄を対象に各スコアの構成要素の値を順位付け後、順位 (グループ) を点数化したもの。点数は最上位グループを10とし、以降降順に付与。各項目に複数の構成要素が含まれる場合は、その全構成要素のスコア平均値を採用。
- ・売上構成はセグメント等で調整されることがあり、合計が100%とならないことがあります。
 - ・出所：株価・チャート等はQUICKのデータベース。業績データ・予想配当金等は決算短信、有価証券報告書、その他会社開示資料

株式会社QUICKからのお知らせ

本資料は、本資料の対象会社、株式会社QUICKおよび野村インベスター・リレーションズ株式会社の3社間の契約に基づき、株式会社QUICKが作成したものです。

本資料の各ページに注記している通り、株式会社QUICKは、本資料の作成に当たり対象会社からスポンサー料を受領しているため、本資料の執筆者は対象会社から独立した立場にありません。

本資料の執筆者は、対象会社の公表済み事実・情報、並びに一般に入手可能な情報の範囲で、正確性・客観性を重視して本資料を作成しております。

なお、株式会社QUICKは本資料の正確性・客観性を確保する態勢を整備し、対象会社との契約においては、対象会社は事実誤認による記載についてのみ訂正を要求できるよう定めております。

免責事項

- ・本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。株式・債券等の有価証券の投資には、損失が生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- ・本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて株式会社QUICKの一部門であるQUICK企業価値研究所が作成したものです。同研究所は、同研究所が基にした情報およびそれに基づく同研究所の要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更される可能性があります。
- ・本資料を参考に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、株式会社QUICKは、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- ・本資料に関する著作権を含む一切の権利は、株式会社QUICKまたは情報源に帰属しており、理由の如何を問わず無断での複製、転載、転送、改ざんおよび第三者への再配布等を一切禁止します。

野村インベスター・リレーションズ株式会社からのお知らせ

本資料は、株式会社QUICK、野村証券株式会社、野村インベスター・リレーションズ株式会社が共同で企画し、株式会社QUICKが作成、野村インベスター・リレーションズ株式会社が配信をしています。よって、本資料は、当社が正確かつ完全であることを保証するものではありません。使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、株式等についての参考情報の提供を唯一の目的としております。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断でおこなってください。なお、本資料は金融商品取引法に基づく開示資料や外国証券情報ではありません。本資料は提供させていただいたお客様限りでご使用いただきますようお願いいたします。